



取扱説明書

コンセント ボックス OB100S-R12



注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

はじめに

このたびは、新ダイワのコンセントボックスをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。また、接続する発電機の取扱説明書も合わせてお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良のときは、本機の使用を控えてください。
- 本機および接続する発電機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、電気事業法、電気工事士法、消防法、騒音規制法等）およびそれらの法律に基づく規則を遵守してください。関連する法律について不明な点がありましたら、お求めの販売店にご相談ください。
- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。
- ご不明な点、お気づきの点がありましたらお求めの販売店にご相談ください。
また、本機についてのお問い合わせ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。
- 本機を廃棄される場合は、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。
- この取扱説明書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、お求めの販売店にご相談ください。

■ この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

-  **警告**：取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
-  **注意**：取扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合および物的損害が発生する可能性がある場合。
- <注意>**：その他の注意事項。

- 『 **注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目 次

1.	安全上の注意	3
2.	用途	5
3.	各部の名称	
3-1.	外観および各部の名称	6
3-2.	コンセントパネル詳細	7
4.	装備	
4-1.	Uリングフック	8
4-2.	DGM1000MI 用アタッチメント	8
5.	運搬・設置	
5-1.	運搬の方法	8
5-2.	設置の方法	9
6.	コンセントの接続	
6-1.	コンセントの接続	16
6-2.	プラグの接続方法	18
7.	保管	20
8.	故障時の対応	20
9.	回路図	21

1. 安全上の注意

警告：感電

- ・発電機またはコンセントボックス電源接続端子台へのケーブルの取り付け・取り外しは、全てのサブブレーカー・ブレーカーを『OFF』にし、発電機のエンジンを停止し、スターターキーを抜いてから行ってください。
- ・コンセントボックス電源接続端子台のケーブル接続後、取り外した入力端子カバーは必ず元の場所に戻し、固定ボルトで締めてください。
感電のおそれがあります。
- ・点検、整備時はコンセントからプラグを抜き、サブブレーカーを『OFF』にし、発電機を停止してから行ってください。
- ・通電中は、配線や電気部品に触れないでください。
- ・コンセントに、ピンや針金などの金属物を入れないでください。
- ・濡れた状態で使用しないでください。
感電するおそれがあります。
- ・運転中は出力端子や内部の電気部品に触らないでください。
- ・外箱接地端子は必ずアース線を接続してください。
- ・蓋を開けた状態で使用しないでください。

警告：けが

- ・点検・整備を行うときは、必ずコンセントからプラグを抜き、サブブレーカーを『OFF』にし発電機を停止してから行ってください。
- ・コンセントボックスを吊り上げないでください。
コンセントボックスが落下するおそれがあります。
- ・サブブレーカーを『ON』にするときは、必ず負荷側のブレーカーや使用機器のスイッチが『OFF』になっていることを確認してください。また負荷側の作業者と連絡を取り、ブレーカーの操作を行ってください。

注意：けが

- ・始動前に必ず使用機器のスイッチを切り、サブブレーカーを『OFF』にしてください。
- ・運転中にコンセントボックスを移動させないでください。
- ・改造したり、部品を取り外したままで運転をしないでください。
- ・持ち運び、運搬の際、Uリングフックは収納してください。
- ・踏み台、椅子として使用することは、危険ですのでおやめください。
転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・コンセントボックスの開閉時の際は、手や衣服をはさむおそれがありますので十分にご注意ください。
- ・発電機を吊り上げる時は、コンセントボックスを取り外してください。
- ・発電機を車で運搬する時は、コンセントボックスを取り外してください。

注意：物的損害

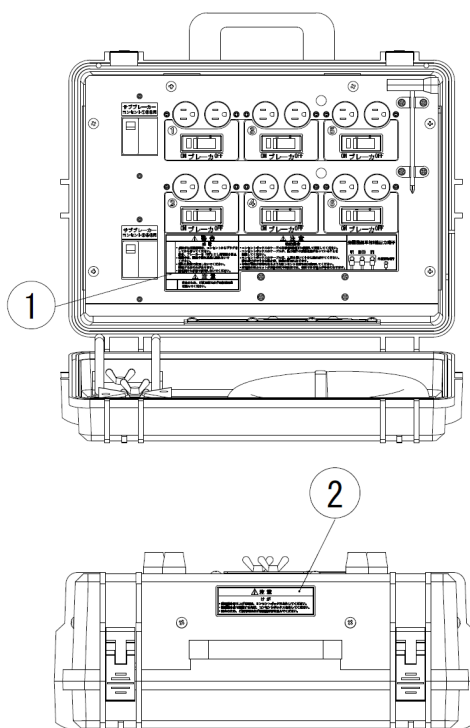
- ・医療機器は、事前に医療機器会社・医師・病院等に確認のうえご使用ください。
- ・コンセントボックスのケーブルは単相3線端子に接続して使用してください。
- ・コンセントボックスのケーブルが、出力端子の接続位置とあっていることを確認してください。

- コンセントボックスのケーブルは、工具を用いて十分に締め付けてください。
締め付けが不十分な場合は、焼損の原因になります。
- 発電機の出カセット、出力端子の接続、負荷の電源が一致していることを確認してください。
- 使用する電流がコンセント接続ケーブルの許容電流を超えると、発熱によりコンセント接続ケーブルが焼損することがあります。
- コンセント接続ケーブルが長すぎたり、細すぎたりするとコンセント接続ケーブル間での電圧降下が大きくなり、使用機器への入力電圧が下がり性能低下や作動不良、または故障の原因となります。
- コンセントボックスへの電線配線経路に配慮(電線を曲げて水が伝わらないようにする。電線を伝って内部に水が入らないように注意。)してください。
水が電線に伝ってコンセントボックス内に入ると故障の原因となります。
- コンセントボックスの中に付属品以外を収納しないでください。
破損のおそれがあります。
- 線間の絶縁抵抗測定は、サブブレーカー、ブレーカー、コンセントなど、不具合の生じるおそれのある機器を外して電線間で行ってください。
- 各相の電流が均等になるようにコンセントを番号順に使用してください。
- 発電機の出カセットが三相 400V/440V 設定では、使用できる電力が半分に
なります。

■警告・表示ラベル貼付位置

警告および表示ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は () 内の番号で注文してください。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ① コンセント②-④-⑥ | (部品番号：X 564-001580) |
| ② けが・吊り上げ・運搬 | (部品番号：X 564-001570) |



2. 用途

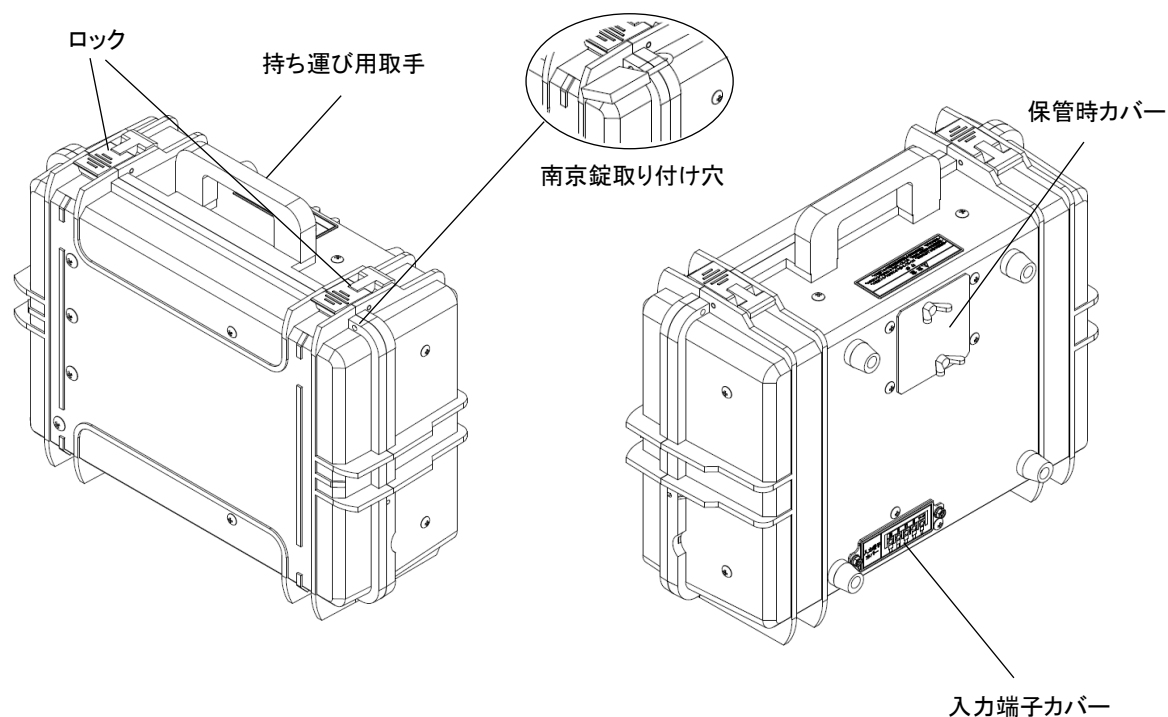
- ・ 照明機器の電源等
- ・ 電動工具や家電機器の電源等
- ・ 非常用電源等

注意：物的損害・二次的被害

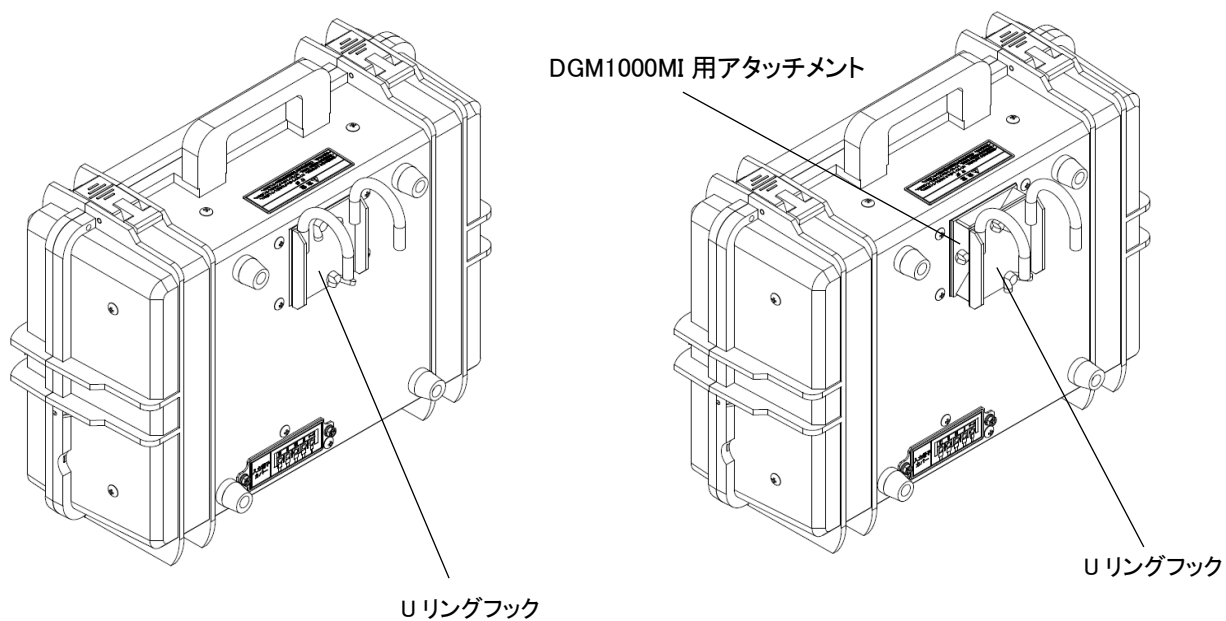
- 上記の用途以外には使用しないでください。
- 医療機器は、事前に医療機器会社・医師・病院等に確認のうえご使用ください。
- コンセントボックスのケーブルは、単相 3 線端子に接続して使用してください。
- コンセントボックスのケーブルが、出力端子の接続位置とあっていることを確認してください。
- コンセントボックスのケーブルは、工具を用いて十分に締め付けてください。締め付けが不十分な場合は、焼損の原因になります。
- 各相の電流が均等になるようにコンセントを番号順に使用してください。
- 発電機の出カセットが三相 400V/440V 設定では、使用できる電力が半分になります。

3. 各部の名称

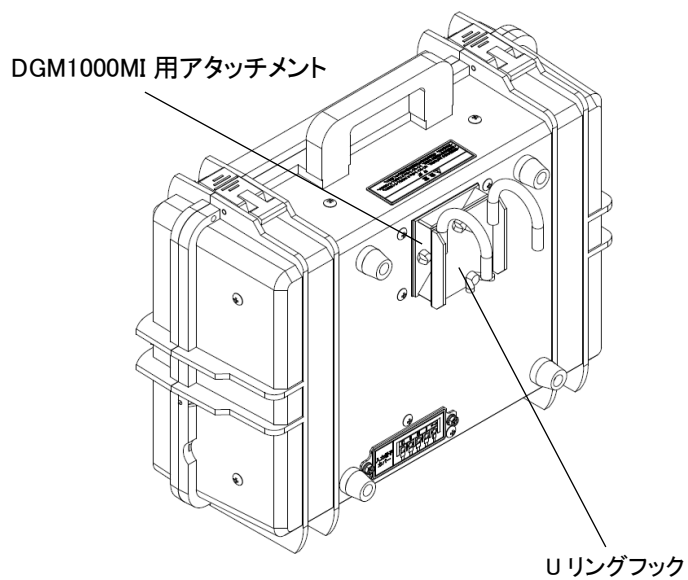
3-1. 外観および各部の名称



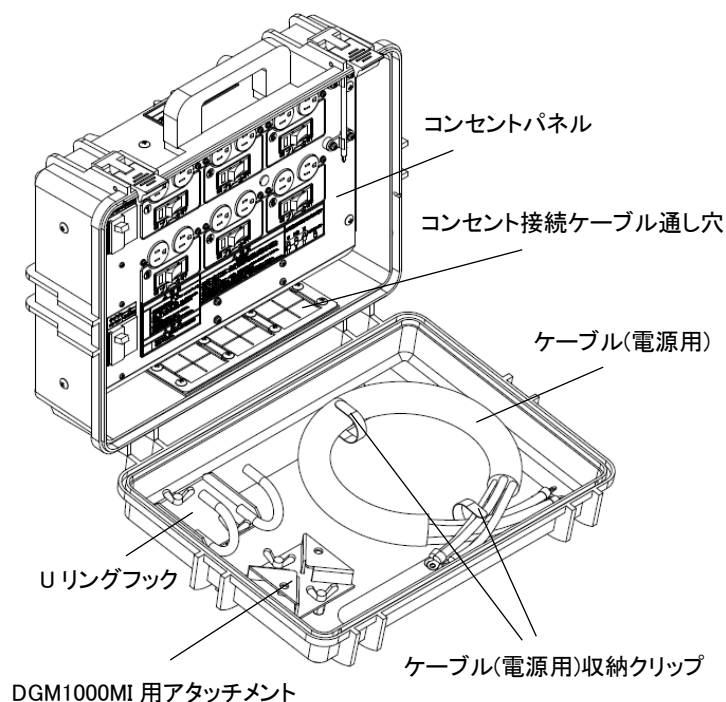
保管時状態



Uリングフック装着時



DGM1000MI 用アタッチメント装着時

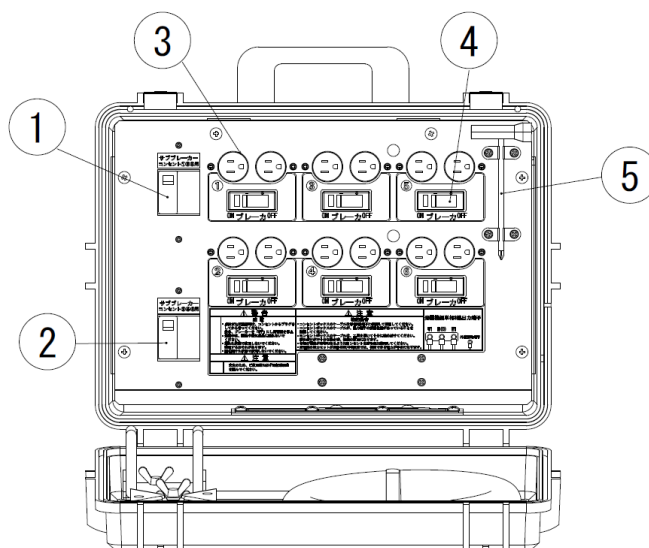


コンセントボックス中身

付属品			
取扱説明書	ワッシャ(3ヶ)	点検表	

* 欠品や破損などありましたら、お求めの販売店にご連絡ください。

3-2 コンセントパネル詳細



①	サブブレーカー①.③.⑤用	②	サブブレーカー②.④.⑥用
③	コンセント(15A×12ヶ)	④	ブレーカー(6ヶ)
⑤	レンチツール		

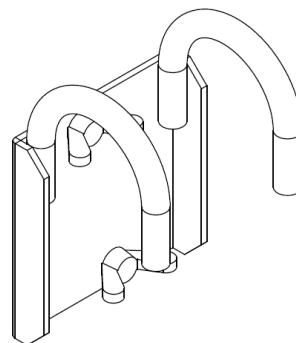
4. 装備

4-1. Uリングフック

本機は、Uリングフックを装備しています。Uリングフックを装着することにより、発電機に容易に着脱できます。

<注意>

- Uリングフックはコンセントボックスを使用する目的以外では使用しないでください。
- コンセントボックスを持ち運ぶ時は、Uリングフックを外し、保管状態にして持ち運んでください。

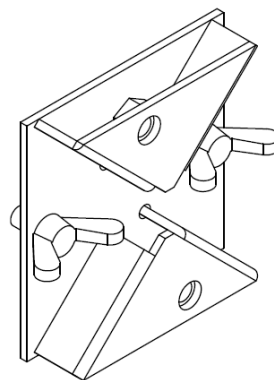


4-2. DGM1000MI 用アタッチメント

本機は、DGM1000MI に装着する為の専用アタッチメントを装備しています。専用アタッチメントを装着することにより、DGM1000MI に装着できるようになります。

<注意>

- DGM1000MI 用アタッチメントはコンセントボックスを使用する目的以外では使用しないでください。
- コンセントボックスを持ち運ぶ時は、DGM1000MI 用アタッチメントを外し、保管状態にして持ち運んでください。



5. 運搬・設置

5-1. 運搬の方法

⚠ 注意：けが

- 発電機を吊り上げる時は、コンセントボックスを外して下さい。
- 発電機を車で運搬する時は、コンセントボックスを外してください。
- 運転中にコンセントボックスを移動しないでください。

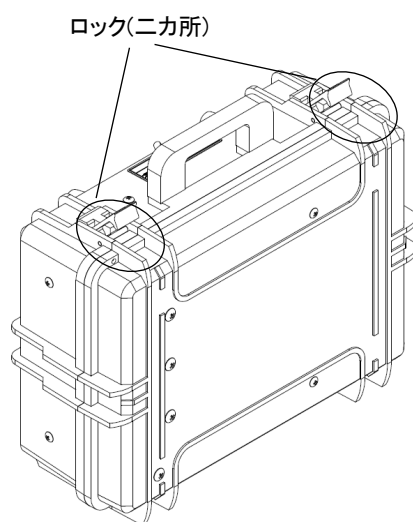
<注意>

- コンセントボックスの持ち運び、または運搬の際は丁寧に取り扱ってください。乱暴に取り扱うと本機の損傷、故障の原因となります。

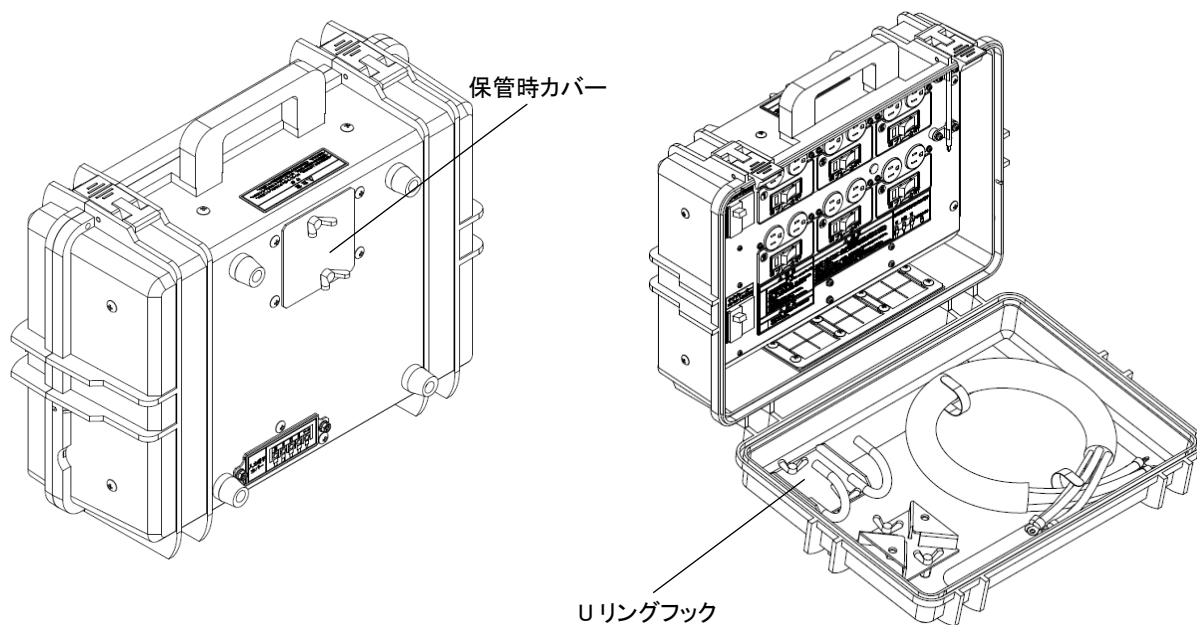
5-2. 設置の方法

■Uリングフックの装着

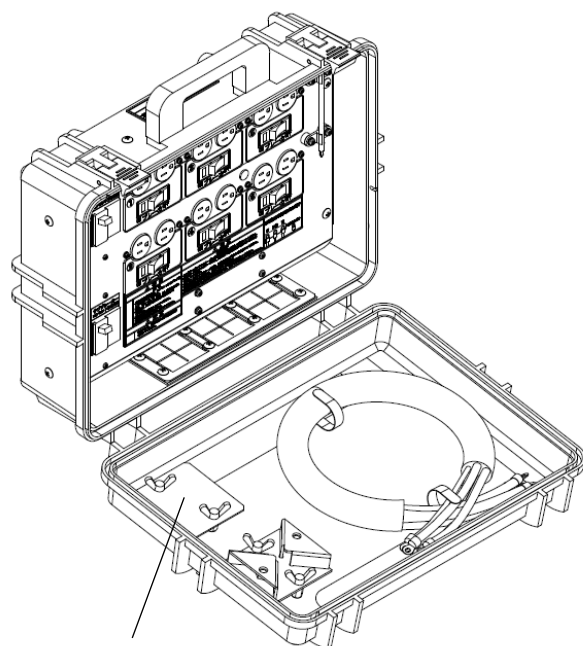
- ① ロックを外します。



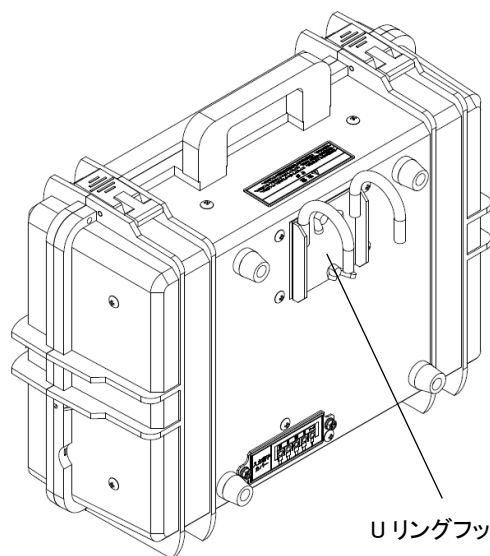
- ② 保管時カバーとUリングフックのウイングボルトをゆるめ外します。



- ③ 保管時カバーを収納し、ウイングボルトで締め付けます。
Uリングフックを装着し、ウイングボルトで締め付けます。



保管時カバー(収納)

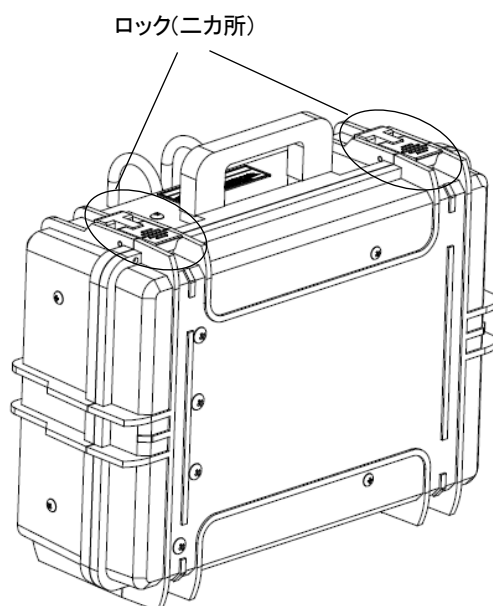


Uリングフック

<注意>

- ・ 保管時カバー収納、Uリングフック装着の際は、ゆるみがないようにしっかりとウイングボルトを締め付けてください。

- ④ 蓋を閉めて、ロックをします。



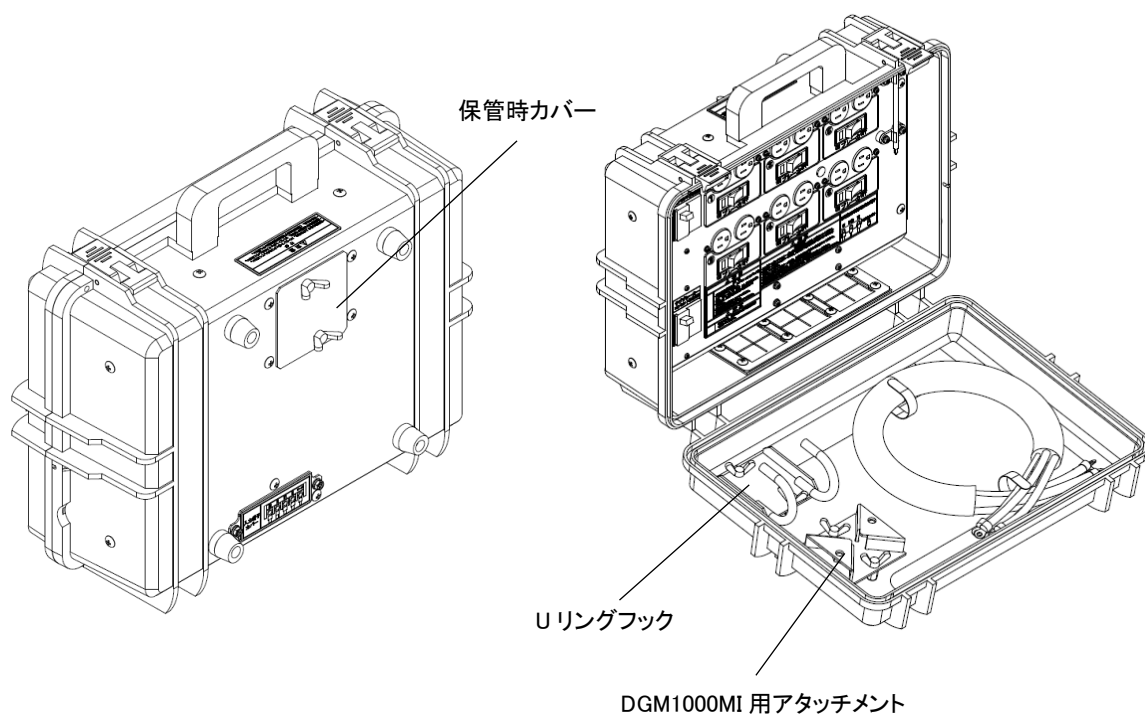
ロック(二カ所)

■DGM1000MI への装着

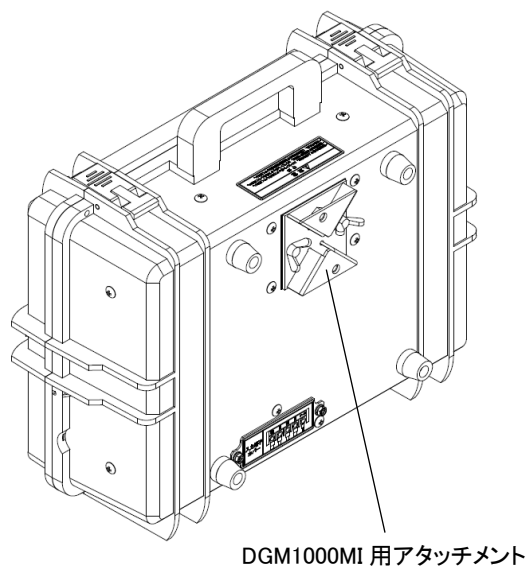
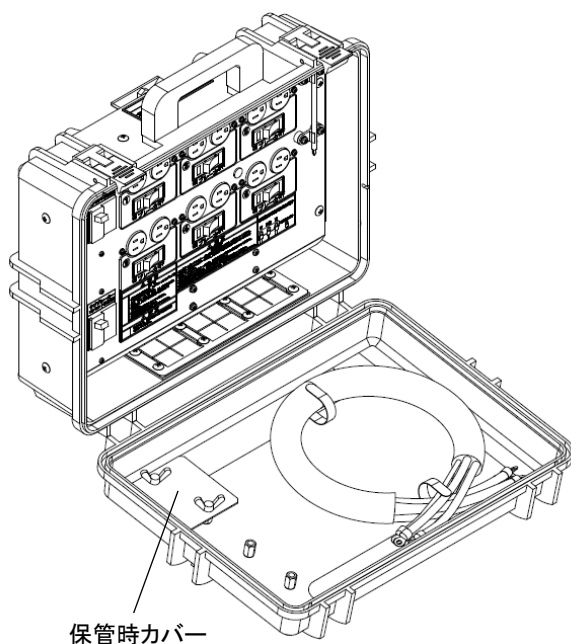
- ① ロックを外します。



- ② 保管時カバー、Uリングフック、DGM1000MI 用アタッチメントのウイングボルトをゆるめ外します。



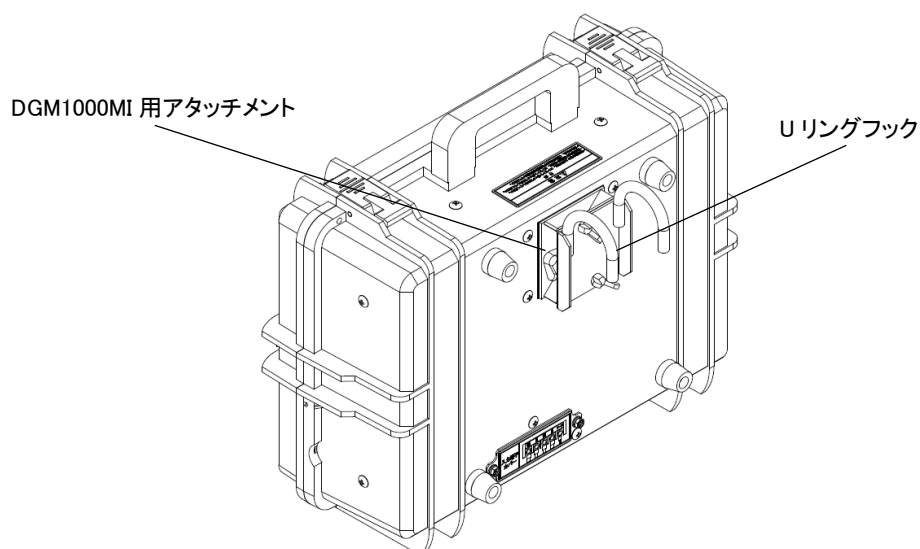
- ③ 保管時カバーを収納し、ウイングボルトで締め付けます。
DGM1000MI 用アタッチメント装着し、ウイングボルトで締め付けます。



<注意>

- 保管時カバー収納、DGM1000MI 用アタッチメント装着の際は、ゆるみがないようにしっかりとウイングボルトを締め付けてください。

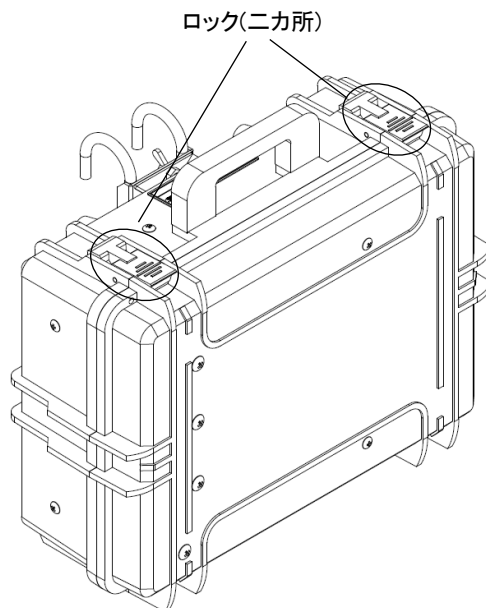
- ④ DGM1000MI 用アタッチメントの上から U リングフックを装着し、ウイングボルトで締め付けます。



<注意>

- 保管時カバー収納、DGM1000MI 用アタッチメント装着の際は、ゆるみがないようにしっかりとウイングボルトを締め付けてください。

- ⑤ 蓋を閉めて、ロックをします。



■ケーブル(電源用)の接続

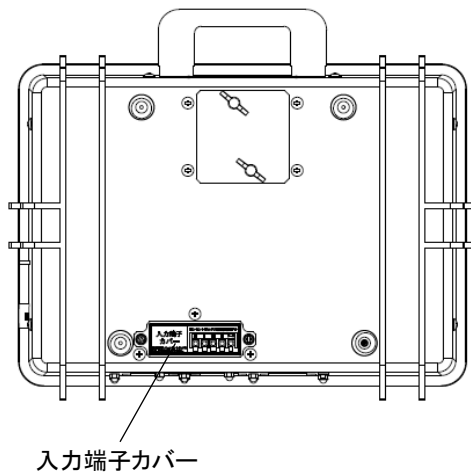
⚠ 注意：物的損害

- ・コンセントボックスのケーブルは単相 3 線端子に接続して使用してください。
- ・コンセントボックスのケーブルが、出力端子の接続位置とあっていることを確認してください。
- ・コンセントボックスのケーブルは、工具を用いて十分に締め付けてください。締め付けが不十分な場合は、焼損の原因になります。

コンセントボックス側のケーブル(電源用)の接続

※コンセントボックス付属のケーブル(電源用)を使用してください。

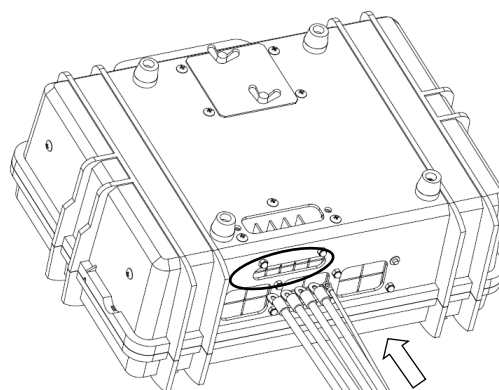
- ① スクリューをゆるめ入力端子カバーを取り外します。



② コンセントボックスの底面穴からケーブル(電源用)を通します。

<注意>

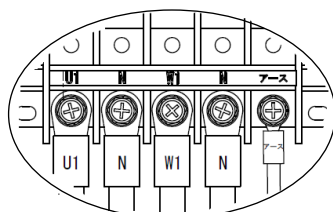
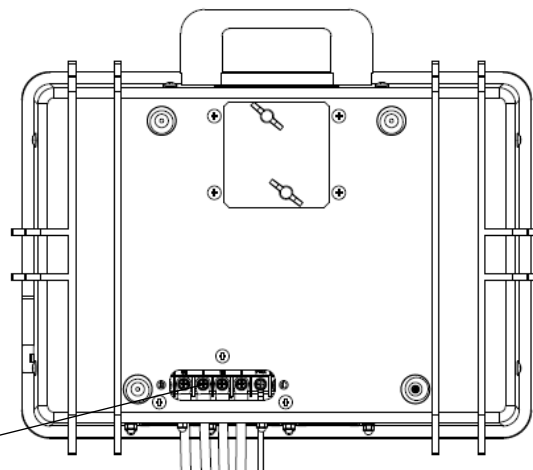
- ・ ケーブル(電源用)を正しい向き(M6 端子側)で通し、コンセントボックス電源接続端子台に接続してください。



③ コンセントボックス電源接続端子台に配線してください。

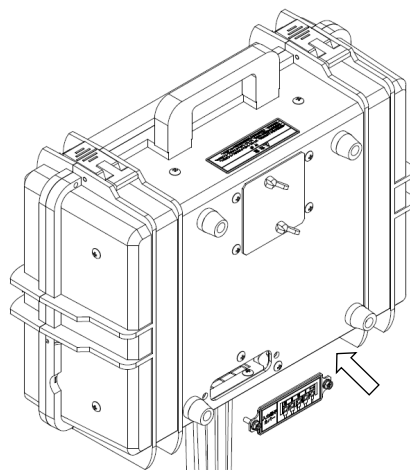
<注意>

- ・ 同じ記号同士で間違いがないように配線してください。
- ・ コンセントボックス電源接続端子台に必ずケーブル(電源用)のアース線を接続してください。



コンセントボックス電源接続端子台

④ 入力端子カバーを元に戻し、スクリュを締め付けます。

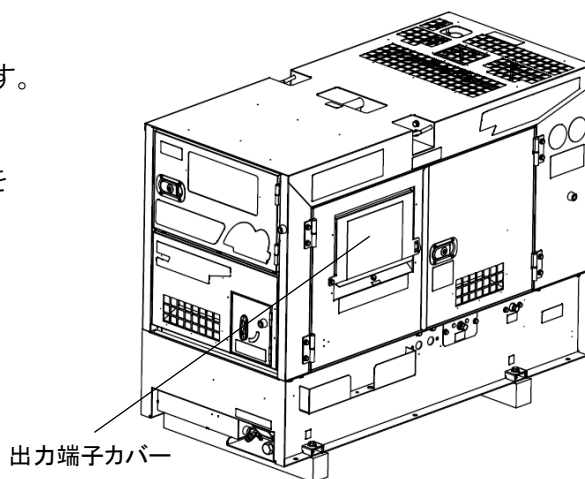


■発電機側のケーブル(電源用)の接続

- ① 発電機出力端子カバーを開きます。

<注意>

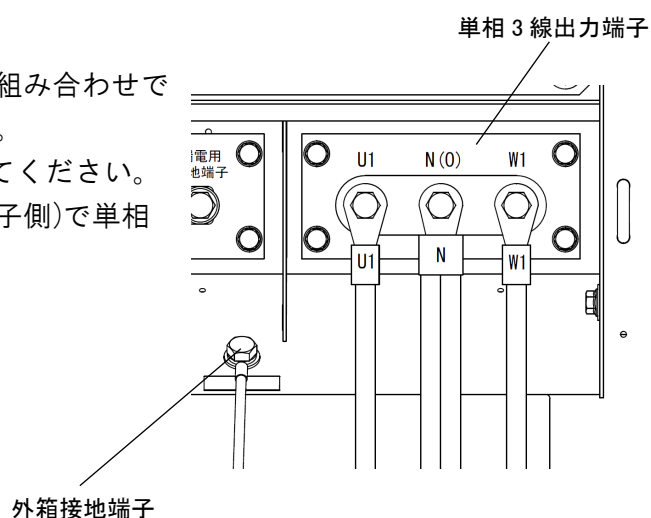
- ・接続作業は発電機が停止しているのを確認してから行ってください。



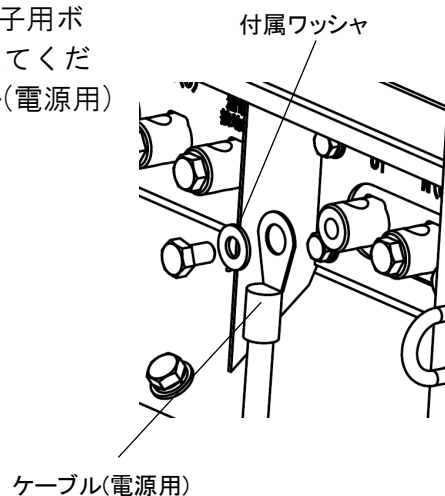
- ② 単相 3 線出力端子と外箱接地端子にケーブル(電源用)を接続します。

<注意>

- ・U1 同士、W1 同士、N と N(0)の記号の組み合わせで間違いがないように配線してください。
- ・外箱接地端子は必ずアース線を接続してください。
- ・ケーブル(電源用)を正しい向き(M12 端子側)で単相 3 線出力端子に接続してください。



※出力端子用ボルトサイズが M8 の場合(DGM25MKC など)はケーブル(電源用)の端子と発電機の単相 3 線出力端子用ボルトの間に付属している銅ワッシャを挟んで接続してください。銅ワッシャを間に挟まなかった場合ケーブル(電源用)の端子が発熱、破損するおそれがあります。

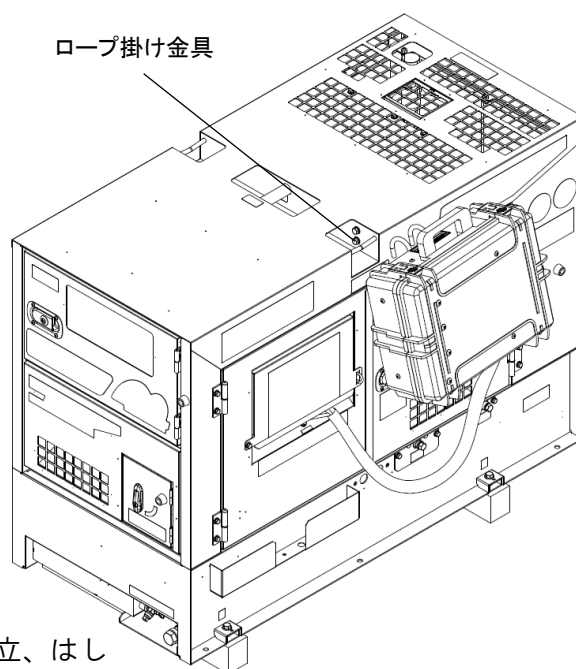


③ 本体を取り付けます。

- 発電機本体のロープ掛け金具などに
Uリングフックを掛けてください。

＜注意＞

- 発電機の点検時には、コンセントボックス
を取り外してください。
- 発電機を吊り上げる時は、コンセントボッ
クスは取り外してください。
- 発電機を車で運搬する時は、コンセントボ
ックスを取り外してください。



■ その他取り付け箇所

金網フェンスやトラックの荷台のあおり、脚立、はし
ごなどにUリングフックを使って取り付けることがで
きますが、取り付け箇所の形状や構造・強度・場所、
装着時のバランスなど十分にご確認の上ご使用くだ
さい。また発電機とのケーブルの長さや配線の取り回
しに問題ないかご確認ください。

6. コンセントの接続

6-1. コンセントの接続

⚠ 警告：感電

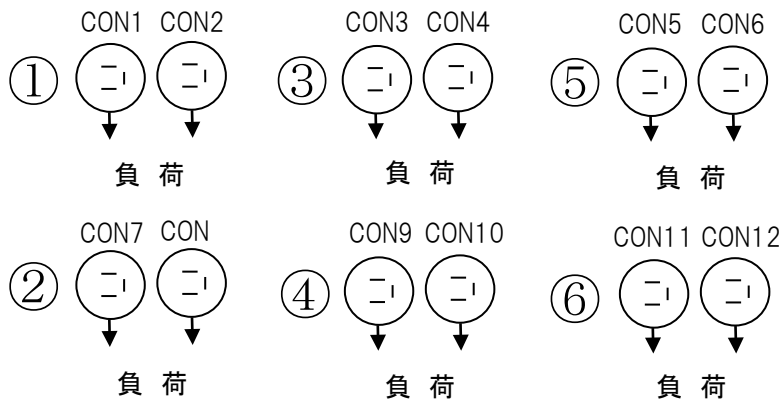
- コンセントへのプラグの取り付け・取り外しは、必ずすべてのサブブレー
カーを『OFF』にし、ブレーカーを『OFF』にしてから行ってください。
 - 点検または整備時は、コンセントからプラグを抜き、サブブレーカーを
『OFF』にし、発電機を停止してから行ってください。
 - 通電中は、配線や電気部品に振れないでください。
 - 蓋を開けた状態で使用しないでください。
 - コンセントに、ピンや針金などの金属物を入れないでください。
 - 濡れた状態で使用しないでください。
- 感電のおそれがあります。

<注意>

- ・各相の電流が均等になるようコンセントを番号順に使用してください。

(1) コンセント

■単相 100/110V コンセント



■各コンセントで利用できる電力は下記の通りです。

以下の kVA まで使用できます。

ブレーカ	単相 100/110V コンセント						合計
サブブレーカ ①.③.⑤	CON1	CON2	CON3	CON4	CON5	CON6	9/9.9
	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	
サブブレーカ ②.④.⑥	CON7	CON8	CON9	CON10	CON11	CON12	9/9.9
	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	1.5/1.65	

<注意>

- ・三相 400V 設定(オプション)で使用する場合、単相 3 線式出力電圧は、三相 200V 設定時と同じ単相 200V/220V・100/110V を出力しますが、利用できる電力は半分になりますので負荷の取りすぎに注意してください。

(2) 発電機の定格出力について

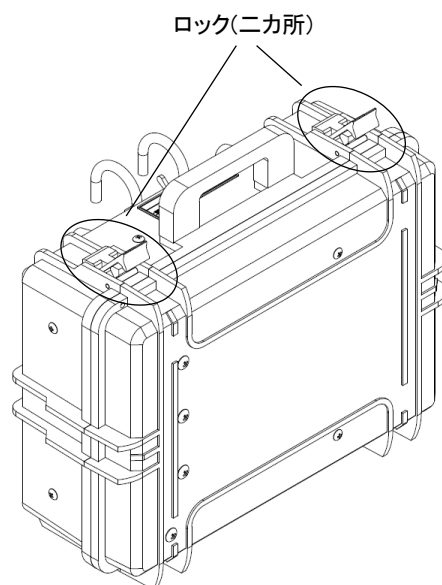
<注意>

- ・接続する発電機によっては、コンセントの定格出力を全て使うことができません。負荷の取り過ぎに注意してください。

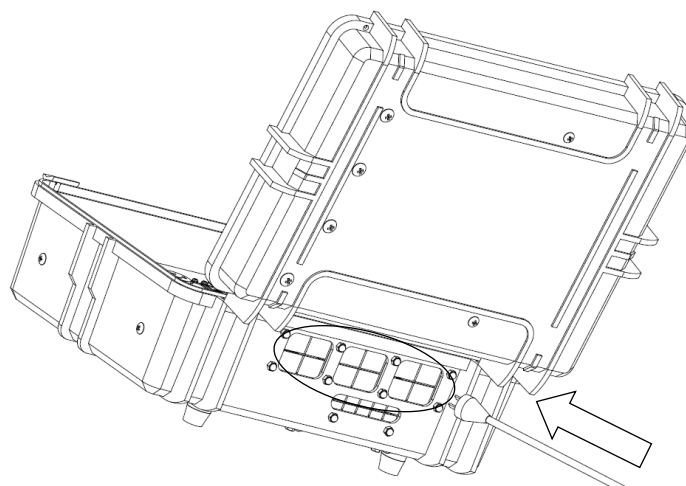
	Shindaiwa 発電機の単相 3 線 定格電流出力				
機種名	DGM80BMK	DGM150BMK	DGM130MK	DGM150UMK	DGM250MK
50Hz	22.5A	37.5A	32.5A	37.5A	60A
60Hz	22.7A	40.9A	34.1A	40.9A	68.2A
機種名	DGM25MKC	DGM450MK	DGM600MK	DGM1000MI	
50Hz	60A	110A	150A	235A	
60Hz	68.2A	122.7A	163.6A	264A	

6-2. プラグの接続方法

- ① ロックを外して、蓋を開けます。



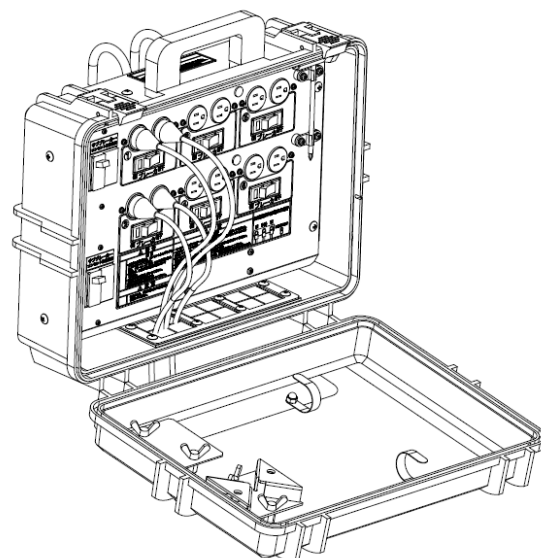
- ② コンセント接続ケーブル通し穴からプラグを通します。



③ 穴から通したプラグをコンセントに接続してください。

<注意>

- 各相の電流が均等になるようにコンセントを番号順に使用して下さい。



④ 蓋を閉めて、ロックします。



7. 保管

(1) 保管方法・段重ね

コンセントボックスを保管するときは次のように保管してください。

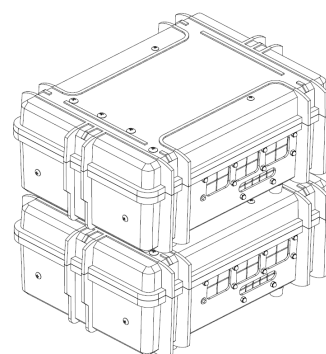
- ・Uリングフック、DGM1000MI 用アタッチメントを取り外して保管時カバーを取り付けてください
- ・ケーブル(電源用)をコンセントボックス電源端子台から取り外して入力端子カバーを取り付けてください。



警告：けが

コンセントボックスを段積みにして、倉庫などに格納する時は必ず次の事項を守ってください。

- ・コンセントボックスにへこみや、ボルト類のゆるみや欠落がないことを確認してください。
- ・段積みの重量に耐えられる固い地盤に水平に置いてください。
- ・段重ね数は、最大六段としてください。
- ・段積み状態での使用はしないでください。



(2) 清掃

- ・コンセントボックスの表面の汚れは、乾いた布でふき取ってください。(中性洗剤使用可)

8. 故障時の対応



警告：感電・けが

- ・運転中は、出力端子や内部の電気部品に触らないでください。
- ・点検・整備を行うときは、必ずコンセントからプラグを抜きサブブレーカーを『OFF』にし発電機を停止してから行ってください。



注意：火災

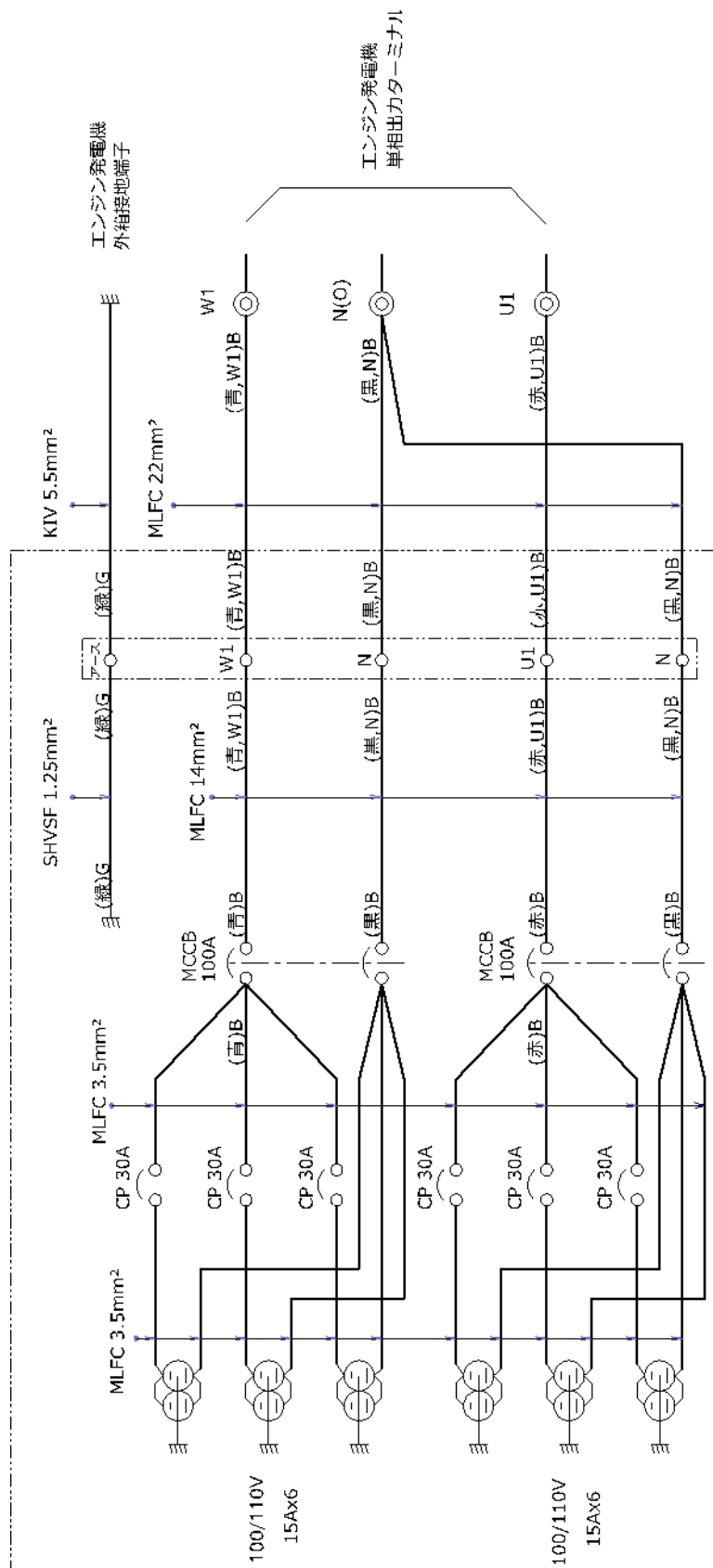
- ・火気を近づけないでください。

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。

点検しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申し付けてください。

故障の状況	推 定 原 因	処 置
電圧が高すぎる	1. ケーブル(電源用)の誤接続	1. 単相出力端子とケーブル(電源用)への接続を正しくセットする 2. コンセントボックス電源接続端子台とケーブル(電源用)の接続を正しくセットする
機器を使用すると電圧が大きく低下する	1. 負荷接続のアンバランス 2. 周波数が異なる 3. 使用機器の電流が定格をこえている	1. 接続を変えバランスをとる 2. 機器の指定周波数にあわせる 3. 使用できる容量の機器に変える
サブブレーカーを『ON』にできない	1. サブブレーカーのレバーが『ON』と『OFF』の中間になっている 2. 負荷側の短絡	1. レバーをいったん『OFF』にする 2. 負荷側を点検する

9. 回路図



MEMO

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL : 0120-176-181 (製品・技術的な問い合わせ)
受付時間: 弊社営業日 9:00~12:00 / 13:00~17:00

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL : 0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。